

築地リフォーム

パームー

築地市場再整備に関して、以下の問題があると思います。

- 1.狭い
- 2.種地が無い
- 3.お金が無い

この問題に関しての解決のアイデアです。

まず、新大橋どおりをはさんで、建っている国立ガンセンター。この都心にある必要性は余り感じられない。また、場外市場は魅力は非常にあるとはいえ、不燃化を図る必要がある。そこで、以下のステップで、再整備を行うことを提案します。

国立ガンセンターの移転

跡地に場外市場を移転

場外市場跡地を種地として、2回でローリング工事を行う。

というシンプルな案です。

ガンセンター関連の敷地は地図から予測すると、約3ha。場外市場は3.8ha。場外市場の力オス的な雰囲気を残してそのほかの部分効率化すれば、可能だと思います。

さらに、東京都の抱える中央卸売り市場の適正地を考えれば、青果を太田に統合し、築地は水産だけということが良いと考えられます。太田の小さな水産部門を迎え入れて、整備を行う。そう考えることが出来たとすると、23haに3.8haを加えて約27haの敷地があることになります。

水産部門での市場としては十分機能する面積だと思います。豊洲の水産部門のみの面積は築地の面積より狭いと聞いておりますので、豊洲で可能ということならば、この方法をとれば十分可能です。

そして、水産部門だけの再整備を仮定すると、築地市場をすべて建てかえる必要があるのか？という疑問があります。

確かに築地市場は、非常に古い建物です。しかし、現代の建設技術においてこのような建物を現在の耐震基準まで上げるという

ことは、可能です。

さらに、作り方によって、閉鎖型の市場を作るのも容易でしょう。

また、扇形の建物が昔の鉄道に対応した形であるとよく議論に持ち上がりますが、扇形が現在のトラック輸送に対応していなくて、四角の建物に対応しているというのも余り理解できない。それはなんとなくの話で、扇形でも十分に対応できるのだと思うのですが。

以上まとめますと、

ガンセンターを移転させて種地をつくる

青果を太田に統合、水産を築地に統合する

現在の築地市場を出来るだけ耐震補強などでリフォームする

無論、新しくしなければならぬ部分はあるでしょう。しかし、建築って意外に、リニューアルをすれば、きちんとできるものです。

お金が無いから豊洲、狭いから豊洲 という単純な議論の前に、東京都がいろんな案を考えたのか疑問です。

以上

ココを買収の上、種地としたり、
現在ある貸しオフィスを利用する

ガンセンター関連施設移転
有明などへ

場外市場移転
(ガンセンター跡地へ)

場外市場跡地を
種地としてローリング

